岩船魂

村上市立岩船小学校
学校だより　No.8
令和　8年10月30日
http://www.iwafune.ne.jp/~iwax2-10
E-mail:school@iwafune-e.murakami.ed.jp

岩船大祭と子どもたち

校長　髙　橋　　健

今年も、**岩船大祭**で生き生きと活躍する子どもたちの姿を見ることができました。当校では、本祭りの10月19日を「体験的活動休業日」とし、子どもたちが地域の伝統に深く触れる機会としています。

10月3日に**「岩船大祭全体会議」**が開催され、小学校の代表として出席してきました。この会議では、今年の運営に関する重要な確認事項が共有されました。その中の「屋台曳行時の危険回避等に関する注意事項」には、子どもたちの安全に関わる以下の内容が盛り込まれていました。

> ３．乗り子に関する事項
> １）屋台の移動中は立たせないこと
> ２）就学前の児童には、必ず保護者を同道させること
> ３）屋台の乗り降りは、屋台の停車中に行うこと
> ４）低学年児童の乗り降りは、屋台の停車中に行うこと
> ５）ゴミや空き缶、空き瓶などは屋台から降りる時に持ち帰らせること
> ６）小中学生・高校生については、各学校からの指導要領や注意事項に必ず従うように徹底させること《特に飲酒、喫煙は厳重禁止》

子どもたちの安全を第一に考え、こうしたルールを毎年丁寧に確認し、見守ってくださる地域の方々に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、本祭り直前の10月13日と14日の夜には、**各町内の練習見学**に伺いました。練習会場に一歩足を踏み入れると、そこにはピリッと引き締まった空気が流れ、真剣に練習に励む子どもたちの姿がありました。指先まで意識して力強く叩かれる太鼓、笛の音に合わせた鉦（かね）の響き、そして威勢のよいお囃子の声。

大人の方が身振りを交えて熱心に教え、時には中学生が隣に寄り添ってタイミングを伝える――**正に伝統が次の世代へと受け継がれる現場**を目の当たりにし、**「岩船人」としてのアイデンティティ**がこうして育まれていくのだと深く実感しました。

そして迎えた10月19日、**本祭りの朝**。お祭り衣装に身を包んだ子どもたちは、普段の学校生活よりも少し大人びて見え、やる気に満ちた清々しい笑顔を浮かべていました。いよいよ本番を迎え、石船神社を出発する一人一人の真剣な表情からお祭りにかける強い気持ちが伝わってきて、胸が熱くなるほどの感動を覚えました。

今年の岩船大祭を通して、**岩船の子どもたちは、この地域全体の手によって温かく育てられている**のだと改めて実感しました。

子どもたちは「地域の宝」であるという喜びと責任を教職員一同で共有し、これからも岩船小学校では、全ての子どもたちの力を伸ばしていけるよう、全力で教育活動に取り組んでまいります。

全国学力・学習状況調査結果を生かす

４月に行われた全国学力・学習状況調査の結果が８月に届きました。結果は以下のとおりです。

<結果(正答率)>

【国語】岩船小 54%　県 58%　全国 60.9%　【算数】岩船小 46%　県 55%　全国 56.4%

調査の目的の一つに「学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」とあります。今回、６年生は国語・算数とも全国平均を下回る結果となりました。その要因を、学校では次のように分析しています。

【国語】

・筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考える力が弱い。

・文章を引用して、自分の考えをまとめる経験が不足している。

【算数】

・図形問題に触れたり問題を解いたりする時間が不十分だった。

・図形問題を解く際の具体物の操作や ICT を使ってイメージを膨らませる機会が少なかった。

上記に挙げた知識・技能や思考力・判断力・表現力はすぐに身に付くものではなく、小学校６年間の毎日の授業や、学校生活を通して少しずつ積み上げられていきます。今回の調査結果をもとに、岩船小学校では、次の点に重点を置き、学力向上を図ります。

(１)子どもたちが主体となる授業を通して、ともに学ぶ子どもたちの育成

①子どもたち同士が、対話を通して課題を解決し、学び合える授業づくりに努めます。

②日々の授業において、根拠を明らかにして、自分の考えをもって説明する学習活動を取り入れます。

③「まなチャレ教材」（県教委からの配信教材）を活用する授業を単元内に位置付け、確実に実施する（３年生以上)。

(２)家庭学習の充実

①小中が連携し、家庭学習のプランニング力を育成する。

②優れた家庭学習ノートを掲示したり、家庭学習メニューを紹介したりして、家庭学習の意欲を高める。

学力向上には、下学年からの積み重ねや家庭との連携が欠かせません。今回の調査結果を生かし、子どもたちがさらに進んで学びに向かうように授業改善するとともに、学力の向上につなげます。

9・10月前半のトピックス

9月8，9日　5年生自然教室

５年生が２日間に渡り、胎内市にある県立少年自然の家で「自然教室」を行いました。２日間を通して、野外炊さん（カレーライス作り）やキャンドルファイア等を行いました。子どもたちは、時間を守ることや協力することを特に意識して、２日間の日程を楽しく過ごすことができました。



16日　交通安全みんなの願い手紙配り

国道３４５号線沿いのコメリ様前で、「交通安全みんなの願い手紙配り」を行いました。交通安全に対する児童の思いが書かれた作文を運転する人たちに配布することを通して、交通安全への意識を高めました。



30日　郡市陸上記録会

６年生がパルパーク神林で行われた「郡市陸上記録会」に参加しました。練習の成果を発揮して、自分の力を出し切ることができました。

＜入賞＞

女子走り幅跳び　第４位

小林里称　３ｍ４９ｃｍ

女子４×100ｍＲ　第４位

小林里称・東海林希胡・須貝優奈・村田姫奈

１分３秒８



10月10日　マラソン大会

練習の成果を発揮して、精一杯走りました。大勢の保護者、地域の皆さんの声援が力となり、多くの児童が自己記録を更新しました。ボランティアの方々にも大勢来ていただき、安全に走ることができました。ご協力いただいた皆様、伴走していただいた保護者の皆様、大変ありがとうございました。



第２回学校運営協議会がありました

１０月１３日（火）、岩船小学校を会場に学校運営協議会が開かれました。今回は、全校の授業を参観していただいた後で、意見交換をしました。話し合いの中で出た主な意見について紹介します。

○　どの学年の子どもも皆元気で、授業を楽しんでいる様子が見られてよかった。学年が上がるにつれて、語彙力が上がっている様子が分かった。

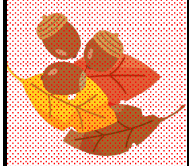
○　「家庭学習」の定着は、なかなか難しい問題である。授業で分かることと、できることは違う。家庭と学校とが同じ認識で取り組むことが重要。学校では授業と家庭学習を連携させることを意識して、家庭ではどの時間に家庭学習をするのかスケジュールをしっかり決めることが大切。

○　メディアが学力向上を邪魔している。親もやめさせることができない。そこが一番の問題なのだと思う。

会議の中では、子どもたちの授業に取り組む姿勢や先生方の指導の仕方についてお褒めの言葉をいただきました。家庭学習の定着、メディアへの接し方については、学校と家庭との連携の重要性について、多くの委員の皆様からご意見をいただきました。

次回は１１月６日（金）、岩船中学校を会場に開催される予定です。

１１月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	いじめ見逃しゼロ強調月間（10月26日～12月4日）					1
1 	2	3 文化の日	4 中央図書館読み聞かせ	5 ・3年生校外学習（ぱりんぴあ）	6 ・5，6年「岩船中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会」参加 ・第3回学校運営協議会（岩船中）	7
	校内読書旬間（～11/13）					
8 ・郡市PTA協議会荒川大会	9 ・学校諸経費等振替日	10 ・4年一夜干し体験	11 ・４年学年行事（ものづくり）	12 ・おはなしタイム（職員による読み聞かせ）	13 ・学習参観（5限） ・全校5時間 ・５年学年行事（おにぎり、みそ汁づくり）	14
校内読書旬間（～11/13）						
15	16 ・いじめアンケート実施日	17	18 ・ソーシャルスキル集会	19	20 ・委員会 ・特別支援交流会（山辺里小）	21 
22	23 勤労感謝の日	24 ・教育相談週間 ・カウンセラーによる教育相談	25 ・児童集会	26 ・放課後子ども教室	28 ・クラブ（最終）	29
30						